

金澤北ロータリークラブ



前田利家像 白鳥路公園

竹下慶一（たけした・けいいち） 1914年(大正3年)～

金沢市に生れる。昭和6年石川県立工業高等学校窯業科を卒業。工業試験場に勤務のかたわら制作活動を進め、昭和12年二科展初出品。戦後は日展、日彫展に舞台を移し、日展では28年入選以来出品を続ける。青年像を制作し続け、その若々しいエネルギーや息吹を制作課題としている。

「若き日の思い出」

越野民男



先日「金婚式祝い」の拙い卓話を致しました。私達の結婚は昭和二十五年六月、私の二十八才の時でした。その後、平和な温くもりの生活に浸り、今日迄事無く生き長らえた事に只々、感謝して居ます。がその間、ロータリーの方々から受けた暖い友情や社会

性等が、如何に支えになったかと思うにつけ、頭の下る思いです。

シベリア捕虜と云えば既に遠い昔、今は語り部的存在になりました。今回は前の様な悲惨じみた話ではなく、苦しみの中で味わった“ユーモア”も交え一寸紹介させて頂きます。

「終戦当時のロシア住民」

ソ連軍の武器はお見事。貧弱な日本軍の物とは雲泥の差です。然し一般住民は満州の我々より遥かに哀れな生活振りの様な気がしました。

鉄道沿線からもその貧しさがよく感ぜられました。住民の生活よりも軍隊が著しく優先して居たのでしょう。我々が終着駅に着いた時の事です。各自の荷物は駅前に残され、全員五・六里も離れた収容所へ徒步行進です。その残された荷物番として、私を含め十名余りが残されました。所が深夜になって物凄け程の付近住民群に囲まれてしまいました。略奪が目的です。当時部隊では軍医長の私だけ帯刀が許されて居ました。輸送中の最大任務は医者にあったからです。

私は抜刀し荷物の周りを一晩中、見張り歩き廻って居たあの時の緊張を今も忘れる事が出来ません。

「集団便所」

各国捕虜の共同便所は宿舎群の中庭に一ヶ所ありました。入口を除いて、一段高段に作られた所に丸い便穴が「口」の字型に三十位並んでいましたでしょうか。

朝方は勿論満員。驚いた事に前に垂れ下がるヨーロッパ人のペニスの大きくて長い事、殆ど床まで届きそうです。日本人は膨張係数が優れて居るのだと勝手に瘦せ自慢をして居たものです。

「哀れな行進曲」

私の辿り着いたカラカダ炭坑地区（現カザフスタン共和国内）には約二十ヶ所余りの各国人の捕虜収容所があり、その中心病院へ幸運にも私は収容され、ドイツ人を含む十数名のヨーロッパ医師と共同生活及び共同診療する事になりました。各収容所から重症患者が運ばれて来ます。漸く死を免れた者は、一応健康回復まで、畑仕事に狩り出される。夕方各国の捕虜が一団となり夫々の唄を歌って帰って来ます。

特に威勢のある歌声はドイツ人、活気があり、リズムカルに響いて来ます。

最も情けなく勢いのないのは日本人の唄。
♪此処はお國を何百里…♪ 聞いて居る方は自然溜息でした。

「妹よ」

且って既述しましたが、日本の女性四人が翌年病院へ

送られて来ました。終戦まで、関東軍特務機関（ソ連向けのスパイ部隊）に勤務して居た為とか。その内の未だ二十才前後の娘が私の外来専用医務室の看護助手を命ぜられました。いくらスパイ部隊とは云え、未だ若く、しかも女性です。

一体何の罪があったのでしょうか。

或る秋の夕暮、数ヶ所の監視付きの鉄条網を前にして♪泣くな妹よ、妹よ泣くな…♪と二人で涙で歌ったあの光景は今も目に残って居ます。果して彼女は現在何処で生きて居るだろうか、とつい思い出す事もあります。

「バッタの大群」

二年目の夏近く、その年は特に蒸々して居ました。

或る日、今まで晴れ渡って明るかった空が、一変に薄暗くなり、太陽も微かになっています。

バッタの大群の来襲です。且ってパールバックの「大地」で読んだあの光影が現実に現れました。家の中に飛び込む。二時間位経って外へ出ると勢力つき取り残されたバッタは、無数に散らばり、収容所内の草木は勿論、外の畑も総べて丸坊主に変わって居ました。

さて、思い出は色々。一度帰国命令が出ましたが、医者であるばかりに一人取り残された私は翌年、即ち三年目の夏から秋、約五十名の集団の付き添い医者としてコルホーズ（国营集団農場）へ派遣されました。

あの時程嬉しかった事はありません。特に鉄条網の無い天国。或る日、居残った数人とシートを縫い合せて網を作り、近くの小川の入江を囲み「シューカ」所謂ライ魚取りをした事もあり、又宿舎の裏の小山で蕪を摘んで遊んだりもしました。

四年目です。昨年末、自分から医師を捨て一介の労働者として他の収容所へ自ら移転しました。三ヶ月後炭鉱内で倒れた事は先日も述べましたが、その後その収容所の医師からの再三にわたる医者再復帰の温かい要請を断り、地上勤務作業に就く事になりました。

先ず建築作業に従事。ロシアの住宅は総て規格品、同じ家です。番号、符号を組み合せ釘を打つだけで本体完了。然し壁塗りは別。横壁塗りはマア素人でも出来ました。問題は天井の壁です。

壁土を天井に向け放り投げ“ヤッタ”と微笑んだ瞬間、頭へ壁土がドッサリと降って来た時には閉口しました。

さて思えば、あの四年半の間常に思った事です。こんな惨めな生活、若し帰国出来ても決して夢にも見てやるまいと。所が帰国するや色々なストレスの連続です。

人生とはストレスとの競争でないかと思うにつけ、あの当時は一心に只帰国（ロシア語でダモイ）のみ考え続けるだけ、余念は全く無し。

ロシア兵からダモイ・ダモイと言いつづけられ騙され続けて来たあの生活。ダモイ以外頭に何も浮かばなかった単純な生活、帰国し色々ストレスに悩む度に寧ろあの頃が懐しくなり、ついつい夢まで見てしまう始末です。

兎に角最近の世情。溜るストレスに負け、遂に邪教へと走る者、又色々無残な犯罪が繰り返られる現状を見るにつけ、或いは人間、身に余る様な高望みをせず、単純に日々を暮らす方が寧ろより幸福なのではないかと考える事も再三であります。

タイ旅行によせて

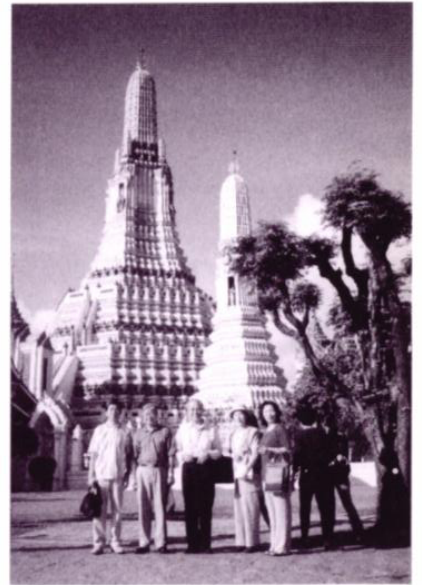
内山正義

2月20日～23日にかけて、木嶋先生ご夫妻・田中幹事ご夫妻・安宅ご夫妻・山上様・米澤（修）様・松本様と内山の総勢10名で、駆け足でしたがバンコクへ行ってまいりました。

金沢は例年になく冷え込み、関西空港から6時間余りの飛行でそこはもう34度の熱帯。朝も早かったせいか、皆さん少々疲れ気味でした。今回のメンバーはほとんどがスモーカーのため、バスを待つ間は煙突状態。夕食もタイスキ（シャブシャブのようなもの）を食べて、とにもかくにも無事初日終了。翌日からは、ゴルフと観光に分かれ滞在の2日間をすごしました。

観光の方は、タイの雑踏のエネルギーやアユタヤ王朝・仏教芸術を堪能されたことと思います。ゴルフ組は2ラウンド目のタイ・カントリー（3年前にタイガーウッズが優勝したコース）でのプレイが、きれいなコースで印象に残ったようでした。ロッカールームのNo.1はウッズのロッカーで（何人か写真を撮りました）皆、大感激。私も、なぜかうまくなったような気がした1日でした。

夕食後、空港へ行くまでの時間を使って全員でタイ式マッサージを受けたのですが、ここでの木嶋先生のマッサージ士への批評が面白く、笑いながら終わると、もう帰国のタイ航空の搭乗便へ。冬場は偏西風が強く、予定よりも30分早く関西空港へ着き（4時間30分で到着）一気に30度の温度差をものともせず、全員無事金沢へ帰ってきました。なお旅行中、田中幹事ご夫妻が結婚30周年を迎え、ささやかですが参加者で祝いました。「ロータリーは素晴らしい」との思いでタイを振り返って見ました。



例会ミニコンサート

於：松魚亭（2月17日）

リサイカ
李彩霞（二胡奏者）



例会変更・休会のご案内

4月・5月の例会について下記のとおり変更いたします。

記

| | | | |
|---------|-----------------|---------------|-------------|
| 金 沢RC | 4月12日(水) 18:00～ | 「夜間例会および観桜会」 | 東山 |
| 金沢東RC | 4月10日(月) 18:30～ | 「夜間例会」 | 金沢スカイホテル |
| | 5月1日(月) | 定款第4条第1節による休会 | |
| 金沢西RC | 4月7日(金) 18:00～ | 「観桜会」 | 三竹屋 |
| | 4月28日(金) | 定款第4条第1節による休会 | |
| 金沢南RC | 4月11日(火) 18:30～ | 「観桜会」 | つば甚 |
| 金沢香林坊RC | 4月10日(月) 18:30～ | 「観桜会」 | 金城楼 |
| 金沢みなとRC | 4月11日(火) 18:00～ | 「観桜会」 | 金沢シティモンドホテル |
| 金沢百万石RC | 4月20日(木) 18:30～ | 「お花見例会」 | 松魚亭 |
| | 4月27日(木) 19:00～ | 「例会場変更」 | マリアージュ玉姫殿 |

ニコニコボックス

3月16日

- 長谷川君 本日の音の講師は、フルートの藤井ひろみさんとクラシックギター奏者の谷内君です。美しい音色をきかせていただき、至福の一刻をもちたいものです。
- 乙村君 本日のミニコンサート、藤井ひろみさんのフルートを楽しませて頂きます。ギター伴奏の谷内直樹さん、毎週ありがとうございます。
- 松平君 今年、二男が某大学に合格しました。又、何かと大変です。
- 山上君 誕生日の月です。年金がもらえる様になるので楽しみにしています。

中田(龍)君 誕生日プレゼントありがとうございました。
合計 11,000円(累計 1,514,000円)

3月23日

- 中田(秀)君 京都洛北RCへの友好訪問、多数の方々の参加ありがとうございます。まだ、席が残っておりますので、お待ちしております。
- 本江君 元気で、79回目の誕生日を迎え、お祝いのワインを嬉しく拝受致しました。
- 勝田君 誕生日プレゼントありがとうございました。まだまだ若い40代です。
合計 7,000円(累計 1,521,000円)

第1302回例会

◆3月16日(木) 雨 12:30～13:30 松魚亭

- ミニコンサート
フルート 藤井ひろみ氏
(ギター 谷内直樹氏)
- 出欠
出席 54名 欠席 21名 出席率 72%
ビジター 14名
- 来訪者(敬称略)
京都山科RC 山腰 茂(シニア・アクチブ)
小松東RC 谷川博造(菓子製造)
金 沢 RC 大島廣靖 上垣内康夫 大友佐俊
小松 曉一
金沢東RC 二木克明
金沢西RC 長田伸夫 荒川勝治
金沢南RC 荒井源空 加藤英資
みなとRC 早川芳子
百万石RC 谷伊津子
- 幹事報告
○ロータリーレート変更
1 \$ 104円→109円(4/1より)

第1303回例会

◆3月23日(木) はれ 12:30～13:30 松魚亭

- 講話
「インターネット入門」
会員 河口 進君
- 出欠
出席 50名 欠席 25名 出席率 66.67%
ビジター 14名
- 来訪者(敬称略)
金 沢 RC 中野一輝 河野良三 大友佐俊
織田義夫 遠藤 哲
金沢東RC 小池田康成
金沢西RC 藤井 修 操川由一 若林 茂
金沢南RC 北川泰信 高本昭二 平野 学
香林坊RC 村田秀彦
百万石RC 野城 勲

3月クラブ日誌

9日(木) 3月定例理事会 松魚亭にて

会 長：長谷川 塑人 S A A：松平 敦實
会長エレクト：本岡 三千郎 会 計：佐藤 正寿
副 会 長：合田 昌英 広報委員長：銭亀 賢治
幹 事：田中 廣明 会 員 数：78名
副 幹 事：畠 善昭 クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。